

平成二十五年度第一期くまもと俳句ポスト

第一期開函

日本伝統俳句協会評議員 井芹 眞一郎 選

特選一句

蒼き夜に浮かびし城の桜かな

千葉県千葉市

吉野松美

【講評】ソメイヨシノ・ヤマザクラ等約八百本が咲く熊本城は桜の名所。ライトアップされる夜景がまた美しい。掲句は「蒼き夜に」でさらに透明感のある幻想的な雰囲気をもたらす句になった。作者の詩心の高さが窺える。

入選三句

若葉風香る八雲の旧居かな
風薫る洗馬の狸それぞれに
薫風や漱石句碑の五高跡

熊本県熊本市
長野県小諸市
福岡県福岡市

吉田昭之
田中匡子
石橋君子

佳作十句

風光る天正の夢殿下石
不知火のとろろと見ゆる蕉夢庵
蛩見や声若返る一夜かな
葉桜の風すべり込む行幸坂
漱石の旧居の庭のやぶ椿
庭園で育つ筆子の井戸の梅
まくなぎに巻かれて入りぬ八雲旧居
まみえたり八雲旧居の梅雨の雨
緑陰や漱石が居て八雲いて
花曇何を啄む雀の子

熊本県熊本市
熊本県熊本市
熊本県熊本市
熊本県熊本市
熊本県熊本市
熊本県熊本市
福岡県北九州市
兵庫県西宮市
熊本県熊本市
熊本県熊本市

田中民明
古木勝行
吉井 巧
田中和明
野口美智子
三浦巡世
中島直四郎
竹田賢治
中村文三
石田成子

投句総数

一九三句

市外

七七句

市内

一一六句

開函日 平成二十五年六月三十日